

交 企 第 4 9 号
平成31年2月14日

公益社団法人
山形県トラック協会
会長 加川 操一 殿

山 形 県 警 察 本 部
交 通 部 長
(公 印 省 略)

業務中の交通事故防止について（依頼）

春寒の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より交通事故防止活動を始め、警察業務の各般にわたりご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、県内においては、交通死亡事故が2年連続で増加しており、本年に入ってから交通死亡事故が1週間に1件の割合で発生する近年にない危機的な状況が続いております。

こうした中、本年2月10日（日）午後4時40分頃、酒田市浜中地内で業務中のタクシーが凍結路面の直線道路でスリップし、対向車線にはみ出して、対向の軽乗用車と正面衝突し、軽乗用車の運転手（67歳女性）が犠牲となる交通死亡事故が発生しております。

今季は、暖冬で降雪量も少なく、路面凍結も例年に比べ少ない状況ですが、そのため、運転者は、朝晩の急な気温低下や日陰による路面凍結等の冬道に対する注意力が疎かになっているのではないかと危惧されます。

こうした状況を踏まえ、貴協会加盟事業所に対し、事故防止に向けた運行及び車両管理とともにプロドライバーとしての安全運転の徹底について、更なる御指導をしていただくようお願いを申し上げます。

ご多忙のところとは存じますが、悲惨な交通事故の根絶に向け、ご協力いただきますよう重ねてお願いを申し上げます。

(担当)

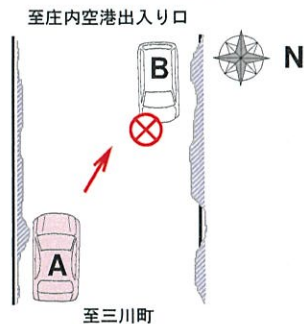
山形県警察本部交通部交通企画課
交通安全教育担当 菅野 尚弥
TEL : 023-626-0110 (内線5033)

交通死亡事故発生通報

(平成31年中 24時間死者7件7人目)

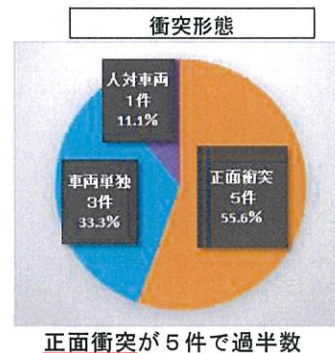
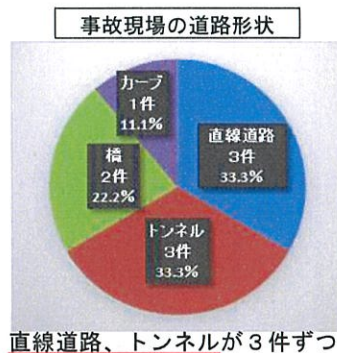
普乗がスリップして対向車と正面衝突！

- 1 発生日時**
平成31年 2月10日(日) 午後4時40分頃 天候・曇り
- 2 発生場所**
酒田市浜中地内 主要地方道
非市街地 路面：圧雪凍結
- 3 当事者**
 - A 普通乗用自動車**
酒田市 運転手 59歳 男性
通行目的 業務中
 - B 軽乗用自動車**
酒田市 無職 67歳 女性
通行目的 捜査中
- 4 事故の概要**
午後6時47分、脳挫傷で死亡
Aは、上り坂の直線道路を進行中、スリップして対向車線にはみ出し、対向してきたBと正面衝突したものの。



●本年2件目のスリップによる死亡事故!!

【過去5年(H26~30)のスリップによる死亡事故9件の分析】



- ◎ **凍結路面での不用意な急ブレーキ、急ハンドルは厳禁!**
「急」がつく動作はスリップ事故に繋がります。
- ◎ **スピードは、夏場より10キロ以上減速!**
冬期間は凍結路面、乾燥路面が混在するので、スピードを抑え、路面状況を確認しながら慎重な運転を心がけましょう。

冬道運転のフロはいない!!

冬道の安全運転5則

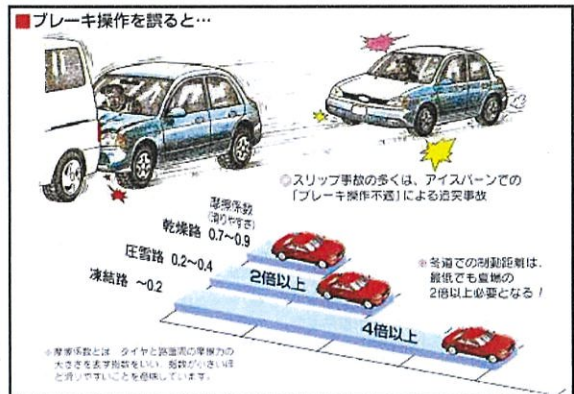
- 1 スピードは、夏場より10キロ以上減速する。
- 2 車間距離は、路面乾燥時の2倍以上とする。
- 3 急加速、急ブレーキ、急ハンドルなどの急激な操作を避ける。
- 4 視界不良時は、前方をよく見て早めに徐行する。
- 5 危険がいっぱい。追い越しはしない。

ブレーキ操作のテクニック

冬道でのスリップ事故の多くは、ブレーキングのまずさが要因で発生。圧雪・凍結道路では、乾燥路面の2～8倍も滑りやすく、制動距離も2～4倍必要となります。

ノンロックブレーキを心掛け、ロックブレーキを発生させないように、速度やブレーキを踏む力をコントロールし、タイヤがロックしてスリップしないようないよう、心掛けましょう。

ロックブレーキは危険回避の際に発生する場合がありますが、ハンドル操作が出来なくなります。



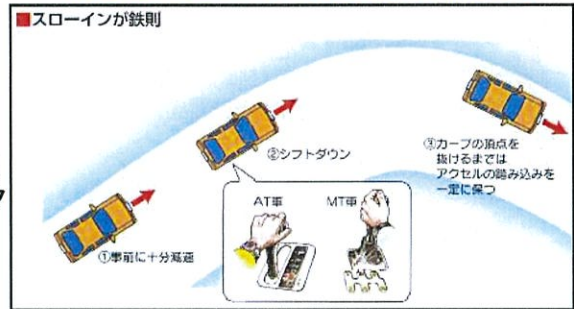
※ ABS車はキックバックが発生しても、踏力を緩めることなく踏み続けて下さい。

カーブの安全走行のポイント

シフトダウンで確実に「スローイン」

どんなに緩やかなカーブでも、カーブ手前で速度を落としてから進入する、「スローイン」のテクニックを確実に実行しましょう。

そのために、カーブの手前では、MT車はもちろんAT車でも、ギア（レンジ）を少なくとも1つ落とすシフトダウンを習慣づけましょう。



※ コーナーを抜けるまではアクセルを一定にして下さい。

坂道の安全走行のポイント

緩やかな下り坂でも侮らない

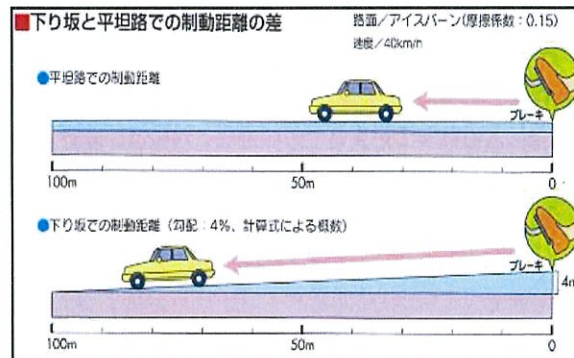
わずか3%の勾配でも、下り坂のアイスバーンでの制動距離は非常に長くなります。

下り坂では、重心が車の前方によってしまい、後輪タイヤのグリップが失われやすく、尻振りや横滑りが発生しやすくなります。

そのために、下りに入る前に確実に減速し、必ずシフトダウンして、エンジンブレーキを十分活用しましょう。

下り坂ではなるべくブレーキを踏まない走行に心掛けましょう。

下り坂に入ってからシフトダウンは、スリップの原因になりますのでシフトダウンは、下り坂の手前で確実にいきましょう。



※ 特に4WD車は発進・登坂性能は高くなるが、制動能力は他車と同様であり、スピンしやすい特色があるので注意。